

令和7年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	南足柄市障害児通園施設「くまさん教室」		
○保護者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童やご家族が日々安心して楽しく通えるような場となるように、活動プログラム(個別・集団)の工夫をするようにした。 ・日々の活動終了後には、プログラムの振りかえりと個別の対応についての問題点等を話し合い共有している。	・利用児童の方々が好むキャラクター等を把握し、手作りで視覚支援出来るような教材の作製や理解しやすい誘導の歌などを職員間で工夫をしている。	・子ども達の好みそうなエーチューブや、番組等も把握できるようにしていく。
2	・日頃から、送迎時や連絡帳を使い、家庭内での状況や事業所内での様子等を両方で伝え合い発達状況や健康状態などの共通理解を深めるようにしている。	・ご利用中の様子は連絡帳以外にも毎月のお知らせや3ヶ月に1回の写真付の活動報告をするようにしている。	・お子さん中心のプログラムになりがちだが、ご家族や職員も全体で楽しめる機会を設け、ご家族丸ごとの様子を知る機会や事業所のことを知らせ関心を持っていただける機会となるようにしていく。
3	・日々の活動前の職員間での活動内容・役割分担・個別の支援内容の共有を行った上、チームで連携支援が出来るように、また、支援終了後の振り返りにも力を入れている。	・併用利用される児童が多いので、曜日によって違うメンバー構成になるため、また、その日の対応職員もメンバーの違いがあるので、日々の情報共有を怠らないように、利用親子に不安がないように準備をしている。	・個別の支援状況の見える化を行うようにしているが、不足の部分もあるため、スタッフ会議などで、周知方法を検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・お子さんに対する家族対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等やご家族が気軽に参加出来る研修や場の提供及び情報提供が少ないこと。	・ご家族からの日々の困りごとや心配事など個々の相談に対しては適宜対応しているが、全体に向けての研修や情報発信を計画的に実施していく必要がある。	・保護者が聞きたい身近な育児情報等ニーズの把握を行い外部講師の活用も検討していく。
2	・地域移行に際しての平行利用児童が多くなって来ている中、移行先の保育園・幼稚園・子ども園との連携が進みにくい事業所もある現状がある。	・市内の各関係機関に事業所の存在を知らせる機会が少ないため、移行先でも知らない職員さんが多く、療育の必要性や支援の共有をする前段階のところもあると感じている。	・法人のホームページ等にも関心を持ってもらえるようにしていく。また、関係機関にも挨拶し出向き紹介パンフレットを置かせてもらう等、日頃からの連携を心がけていく。
3	・利用の曜日限定の方が多くいるため、地域との交流やきょうだいが参加できるプログラムの提案をしていきにくい状況になっている。	・今年度は法人全体の秋祭りに参加をよびかけるように提案を行う事としたが周知のし方の工夫は必要だった。	・事業所や法人全体に関心を持ってもらえるような工夫は必要なので、次年度も少しでも多くの方々と交流が持てるような企画を提案していく。